

公益社団法人 愛知県理学療法士会ニュース



平成 30 年
(2018)
11月1日

No.
191

THE AICHI PHYSICAL THERAPY ASSOCIATION NEWS



Index

代表理事コラム

2 理学療法士と障がい者スポーツ

3 公益社団法人 愛知県理学療法士会
部局だより

6 役員選挙のお知らせ

7 “愛知スポーツ理学療法事業” 立ち上げました！

8 海外で活躍する理学療法士

10 愛知県理学療法士会・愛知県理学療法学会主催
の研修会・その他の研修会

25 事務局からのお知らせ

代表理事コラム

理学療法士と障がい者スポーツ

公益社団法人 愛知県理学療法士会 代表理事 鳥山 喜之

法人は、社会的存在として、最低限の法令遵守や社会的貢献といった責任を果たすだけでなく、住民や地域、社会の顕在的・潜在的な要請に応え、より高次の社会貢献や配慮、情報公開や交流を積極的に取り組むことが重要である。そのためには、事業目的の明確性、法人運営の健全性と継続性に努めなければならない。

日本理学療法士協会スポーツ支援推進執行委員会では、2020東京オリンピック・パラリンピック大会における理学療法士の活動を通して、スポーツ理学療法の発展のみならず、理学療法士が広義のスポーツ（運動）をツールとして健康増進・疾病予防に資する専門職であることを国民に発信するべく準備を進めている。

2020東京オリンピック・パラリンピック大会が近づくとつれ、国内の各地域においてプレ大会の開催や各競技団体のキャンプ地となる事が予想され、愛知県理学療法士会においてスポーツに関する支援要請が増えることが想定される。

今回、全国大会「2018年第7回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・愛知」が愛知県内で、2018年9月22日から24日の3日間開催された。スペシャルオリンピックスは、知的障害がある人たちに年間を通して日常的にスポーツトレーニング及びその成果を発表する競技会を提供している国際的なスポーツ組織

である。大会期間中、参加選手の健康増進を図るために考えられたプログラムである「ヘルシー・アスリートR・プログラム（HAP）」における、フィットネス（筋力、柔軟、バランス力）、フィットフィート（足病、歩行チェック）の実施にあたり、当士会は協力、約30名の会員を派遣した。

スペシャルオリンピックスは、スポーツを通して知的障害のある人が自立と社会参加を果たし、健康で豊かな生活を知的障害のない人とともに送ることを目的としている。

スペシャルオリンピックスの活動は1968年、故ユニス・ケネディ・シュライバーが米国で知的障害のある人々がスポーツを通じて能力や尊厳を示し、一人の市民として幸福な生活を営むことができるようにと願いを込め始めた活動である。現在、世界170カ国以上で、450万人のアスリート（知的障害のある競技者）と100万人のボランティアが参加する国際的なムーブメントに発展している。

今後もさらに、我々理学療法士が果たす役割として、ノーマライゼーション理念の基、障がい者スポーツの普及だけでなく、スポーツを通じて障がい者の社会参加や自立支援に係ることは非常に大きいと考える。

代表理事会務報告（平成30年7月6日～9月22日）

日 程	内 容
7月 6日 金	第30回日本医学会総会市民展示会打ち合わせ
7月 7日 土	三土会協議会
7月 8日 日	自由民主党名東区支部総会
7月15日 日	新人教育
7月21日 土	愛知県理学療法士会理事会
7月23日 月	名古屋市在宅医療・介護連携推進会議
7月27日 金	第30回日本医学会総会市民展示会打ち合わせ
8月23日 木	第30回日本医学会総会市民展示会打ち合わせ
8月28日 火	東海懇話会「菅義偉内閣官房長官講演会」
8月29日 水	トライデントスポーツ医療看護専門学校平成30年度第1回教育課程編成委員会
9月 5日 水	第30回日本医学会総会市民展示会打ち合わせ
9月 8日 土	日本理学療法士協会理学療法士労働環境委員会
9月12日 水	自由民主党愛知県連主催、医療系団体政策懇談会
9月15日 土	愛知県理学療法士会理事会
9月21日 金	田中まさし君の飛躍を期待する集い
9月22日 土	2018年 第7回スペシャルオリンピックス
9月22日 土	名古屋市審査部会連絡協議会



職能局

業務推進部
部長 石田 悦二

職域別管理者ネットワーク研修会を開催いたしました

例年にない猛暑が続いた今夏、7月から9月にかけて昨年度からお伝えしていました「職域別管理者ネットワーク研修会」を開催いたしました。

7月15日（生活期）35名、8月19日（地域包括ケア病棟）22名、8月26日（回復期）20名、そして9月23日（急性期）25名と、県内それぞれの職域にお勤めの役職者の皆様でご参集くださいました。

内容は職域ごとに、趣旨説明から始まり協会中央研修の伝達、各職域世話人の先生方の講義のほか、午前午後ともに参加者の方々と検討テーマを決めたワークショップと盛りだくさんのプログラムでした。

「職域別管理者ネットワーク構築」の目指すところは、「職域ごとに特化した質の向上に向けた取り組みをしていくこと」と「円滑な情報共有などの役割を役職者の方々に担っていただくこと」です。そして研修会は役職者の方々が集い、情報共有・情報交換することで、同じ職域で抱える共通の問題や課題を解決・達成するための方法やヒントを皆で検討し見出していく“集まれる場”となることを目的としています。

4回の研修会を通してどの職域においても特にワークショップでは和気あいあいとした雰囲気の中で活発に意見交換されていました。

研修会の中でお話ししましたが、この研修会に参加することで問題や課題が解決・達成されるわけではありません。これをきっかけに翌日からのそれぞれの職場における業務改善や取り組みのヒントにさせていただくことやワークショップを通して知り合いになられた関係を継続し情報交換・情報共有していくことが本事業の目指す具体的な取り組みとなります。

業務推進部としては今後も皆様の“顔の見える関係”を拡げのお手伝いができるよう事業運営を展開していきます。

皆様も引き続き本事業の主旨をご理解いただき、愛知県における管理者ネットワーク構築にむけて今後もご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



■今後の研修会

本年度2回目の『ADL維持向上等体制加算に関する研修会』の開催が決定しました。

年明け「平成31年1月13日(日)ウインクあいち」で開催いたします。

詳細は紙面の都合上、県士会ホームページでお知らせいたします。

急性期病院で勤務されている方やADL維持向上等体制加算に興味のある方など、ぜひご参加ください。



職能局 倫理保険業務部 部長 宮崎 友和

平素は倫理保険業務部の活動にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

今年度第1回目の喀痰吸引研修を9月22日に開催

しましたが、参加定員30名にすぐに達してしまう状況で、参加できなかった方もいらしたと思います。第2回を10月、第3回を11月～12月に開催する予定です。詳細については後日HP等でご案内いたしますのでご確認頂きます様よろしくお願いたします。



職能局 予防事業推進部 部長 林 尊弘

いつも予防事業推進部にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

予防事業推進部では、愛知県の委託事業であります介護予防指導者育成事業の地区研修会を平成30年1月～

3月の期間に各地区(名古屋, 尾張, 知多, 西三河, 東三河ブロック)で開催いたします。研修内容としましては、地域ケア会議に関することを行う予定です。詳細につきましては、後日HP等でご案内いたしますのでよろしくお願いたします。



社会局 健康福祉部 部長 竹内 有三

いつも健康福祉部活動へのご協力とご理解を頂きありがとうございます。このニュースが発刊されます頃には、10月18日(木)に愛知県風船バレーボール大会の行事が終了していることと思います。

健康福祉部では、理学療法士が主体性を持ち各行事に取り組み、県民の皆様方への一助となればと考え各活動を行っております。また、活動を通して各理学療法士とのコミュニケーション・絆を深めることができるとも考えております。今後も各活動を積極的に行って参りたいと思いますので、理学療法士皆様方のご助力を頂ければ幸いです。

各事業の今後の予定をお知らせします。

て頂きました。お手伝いを頂きました先生方ありがとうございました。

【今年の予定】

❖スポーツ傷害予防事業

一般の選手、指導者の方々を対象にスポーツ傷害予防教室を行います。

日程が決定している事業をお知らせ致します。ご興味ある方はお申込み・お問合せ下さい。

<名古屋東ブロック>

日 時：平成30年12月2日(日)

14:00～17:00(受付13:30～)

場 所：株式会社ゼニタ治療院

(〒460-0007 名古屋市中区新栄3-20-28 ライフ&シニアハウス千種4階)

対 象：各スポーツ指導にあたる部活動指導者及び監督・顧問

その他スポーツ傷害にご興味のある方(学生及び選手)

保健体育担当教諭 等

募集人数：50名

内 容：「膝のスポーツ傷害予防とリハビリテーション」

【事業報告】

❖スペシャルオリンピックス(HAP)へのボランティアに参加

9月22日(日本ガイシホール)・9月23日(スカイホール豊田)にてスペシャルオリンピックス(HAP)へのボランティアに参加しました。理学療法士の検査・測定技術を活かしながら、選手の身体能力を測定させ

- ・スポーツ整形外科医の立場から見た膝関節スポーツ傷害の病態と診断
- ・膝関節スポーツ傷害の予防とリハビリテーション (適切なrice処置、テーピング、治療の最新知見、コアトレーニングや指導方法など)
- ・理学療法士から見たスポーツ傷害に対するコンディショニング実技 (適切なストレッチング方法とコンディショニング)

講師：名古屋グランパスエイト

チーフチームドクター 深谷泰士先生
株式会社ゼニタ 信州大学大学院

理学療法士 錢田良博先生
明舞中央病院 リハビリテーション科
理学療法士 山本昌樹先生

参加費：無料

締め切り：11月25日(日)

申し込み・問い合わせ先：

- ①氏名 ②ふりがな ③職種・学生 ④所属先
- ⑤返信用連絡先(メールアドレス) 明記頂き、下記E-mail宛にお送りください。健康福祉部 木村康人(虹ヶ丘介護老人保健施設)
- E-mail : ne_kenko_apta@yahoo.co.jp



常設委員会 **白書委員会**
委員長 壹岐 英正

「愛知県理学療法白書 2018」アンケート ご協力をお願い

白書委員長の壹岐です。

公益社団法人愛知県理学療法士会では対外的な情報提供を目的に、3年に1度「愛知県理学療法白書」を作成しております。この10月に各施設宛で白書についてのアンケートを送付いたします。各施設代表者におかれましては、大変お手数ですが可能な限り早期の返信をお願い致します。

なおこのアンケートは愛知県リハビリテーション情報センターの情報収集と共同で行うため、会員外やOT、

STについての情報もお伺いします。また「事業所ごと」での回答をお願い致します。

以上、高い回収率で有用な情報提供ができるよう皆さまのご協力をお願い致します。

なお2015年の「愛知県理学療法白書」は公益社団法人愛知県理学療法士会の「情報公開」バナーもしくは以下のQRコードから閲覧できますので、ご確認ください。



Webサイト：

http://www.aichi-pt.jp/dl/thera_only/thera_only_hakusho2015.pdf



常設委員会 **災害対策委員会**
委員長 嶋津 誠一郎

災害対策委員会では、8月11日(土)に災害対策研修会を開催致しました。今回は、災害対策委員より研修報告をさせていただきます。

来たる大規模災害に備え、士会員皆さまの一助となれば幸いです。

8月11日に開催された災害対策研修会に災害対策委員として参加協力してきました。参加者の内訳は30名でPT26名、OT2名、ST2名で、県外からの参加もありました。今回は実際の支援活動に取り組まれている大雄会病院薬剤師の柴田隼人氏と、DMAT事務局の鈴木教久氏を招聘し、現地での活動支援と災害対策本部の事務局機能に関して講演頂きました。「災害時の初動とロジステックス」をテーマにグループワークによる演習を交えながら、災害時に限らず地域の地理的環境や人々

の生活の様子といった社会的事象を多角的に「みる」重要性を認識させられました。受講者からは「実際にPTが災害現場で何ができるのか具体的に知りたい」、「病院の所在地によって対策に違いがあって勉強になりました」「自分の病院の対策について理解する必要があると感じました」などのコメントを頂きました。

その他の意見として「もう少し具体的な話が聞きたい」「自分の住んでいる土地での避難所等がどこにあるかを確認したい」と、災害対策に興味を持って頂いた参加者もいました。

多職種の役割や事務局の機能を知ること、私たちリハ専門職が災害時に「何を」「どのように」すればよいのかを考える機会となりました。今回受講者として参加して、日頃からの顔の見える関係づくりが重要だと感じました。

常設委員会

選挙管理委員会
委員長 江本 達也

■ 役員選挙のお知らせ ■

今年度役員選挙が行われます。
役員選挙告示（別紙およびホームページ）をご確認ください。
よろしくお願ひいたします。

■■■「重要」：専用WEBページから、立候補の受付・投票を実施いたします。■■■

- 士会および学会のホームページより、役員選挙専用WEBページをご案内いたします。
- 専用WEBページより、立候補受付・立候補者の趣旨文書の閲覧・投票が行えます。
- 初回ログインの組織IDは「Apt」、ユーザーIDは「Apt」＋会員番号、仮パスワードは「Apt」＋西暦生年月日となります。初回ログイン時に、パスワードの変更が促されますので変更してください。次回ログイン時より、変更後のパスワード、IDは「Apt」＋士会会員番号を使用してください。

（例）

理雪花子さんの会員番号：123456 生年月日：1990年10月1日の場合

（会員番号と生年月日の前にAptをつけます）

初回ログイン時は、

組織ID:Apt ユーザーID:Apt123456 パスワード:Apt19901001

パスワード変更後、

組織ID:Apt ユーザーID:Apt123456 パスワード:*****（個人の任意設定）

- 変更後のパスワードは、今回の選挙期間中使用しますので、忘れないように管理してください。
- 立候補に関するお問い合わせは、「メール」でお願いいたします。
- 選挙関連情報は、ホームページ等でお知らせしますので、ご留意ください。

「問い合わせ先」

公益社団法人 愛知県理学療法士会

特定非営利活動法人 愛知県理学療法学会

選挙管理委員会 委員長 江本 達也

E-mail: t_emoto(a)chita.jaaiikosei.or.jp

メール送信時は(a)を@に変更してください。

(JA 愛知厚生連 知多厚生病院 リハビリテーション科 TEL 0569-82-0395)

“愛知スポーツ理学療法事業” 立ち上げました!

愛知スポーツ理学療法事業 宮川 博文

2020東京オリンピック・パラリンピック大会、2026アジア競技大会（名古屋）などをはじめとするスポーツに関する支援要請に応えていくため、県士会として、質の高いスポーツ理学療法を提供できる会員の育成と人材確保の体制作りを目指していきたくと考えています。

スポーツ理学療法に関心のある会員は、日本理学療法士協会スポーツ支援推進執行委員会として開催されるスポーツ理学療法研修会、県士会として開催予定の愛知スポーツ理学療法研修会などへの積極的な参加をお願い申し上げます。

なお、県士会のHPに「愛知県スポーツ理学療法」というバナーを新設しました。スポーツ理学療法事業に関する情報は、速やかに士会ホームページに掲載してゆきます。

愛知スポーツ理学療法事業 構成メンバー

- スポーツ理学療法運営担当
 - 宮川 博文（愛知医科大学 運動療育センター）
- スポーツ理学療法推進協力者
 - 〈一般競技スポーツ〉
 - 飯田 博己（愛知医科大学病院）
 - 大橋 朗（知多厚生病院）
 - 平野佳代子（井戸田整形外科 名駅スポーツクリニック）
 - 水田 洋平（伊藤整形外科）
 - 〈障がい者スポーツ〉
 - 北村麻衣子（愛知県青い鳥医療療育センター）
 - 加藤 将（愛知県青い鳥医療療育センター）
- アドバイザー
 - 〈日本理学療法士協会スポーツ支援推進執行委員会〉
 - 小林 寛和（日本福祉大学）
 - 鳥居 昭久（愛知医療学院短期大学）
 - 〈愛知県理学療法士会理事〉
 - 星野 茂（蒲郡市民病院）
 - 熊澤 輝人（名古屋市立西部医療センター）



海外で活躍する理学療法士

スリランカで地域の理学療法士

～ 2年間の任期を終えて思うこと～

青年海外協力隊 福井 麻耶

アーユボーン。皆さんこんにちは。

青年海外協力隊の理学療法士隊員として2年間スリランカへ派遣され、任期を終えて7月に帰国しました。今回そのまとめとして、スリランカに行った経緯や、日本とスリランカの違い、途上国など海外で働くことや住むことについて感じたことについてお伝えします。

○日本って凄い国

日本に帰ってから正直逆カルチャーショックを受けています。食事はどこでも美味しいし、インターネットはどこでも快適に使えるし、公共交通機関は時間通りに来ます。そしてどこも清潔!日本は本当に豊かで素晴らしい国だなと実感したと同時に、世界的にみると、実は日本が世界からずれているのではないかと感じました。

○「世界をもっと知りたい」と思ったから

今回の青年海外協力隊に応募した動機は、「世界をもっと見てみたいから」というシンプルなものでした。元々、海外に興味があり、旅行などで行ったことはありました。その中で途上国出身の友人の話が印象的です。彼女は、「私の国の農村部では、家々の生活排水をすぐ近くの湖にそのまま流して、子供たちはその生活排水で汚染された湖で遊んでいるの」と言います。これを聞いた私はぞっとしてしまいました。インフラの不足と無知によるものなのか、そして環境破壊でもあります。日本の普通は世界では特別で、日本の常識は世界では非常識なのかもしれない。そんな気持ちから青年海外協力隊に参加しました。

○スリランカの農村部に住んでみて
気づいたこと

「晴耕雨読」という言葉がありますが、まさにそんな生活です。「雨だから」という理由で仕事を遅刻したり、予定を変更したりということは日常茶飯事でした。また、天気以外でも前々から予定していたイベントが何らかの理由で前日(ひどいと当日!)にキャンセルになることもあり、始めの頃は急な予定の変更に馴染めずにいました。しかし、当のスリランカの人々は「仕事が無くなったからよかったじゃない」と動じることはなく、予定は変わって当たり前のスタンスです。そして、家族をとて大切にしている人々なので、仕事よりも家族を優先した働き方をしていることも印象的でした。また、活動していた地域が農村部だったため、地域の繋がりも強く、行政サービスの不足に対して、地域で補っている場面も多くありました。今の発展した日本があるのは先代の方々が自分たちの生活を犠牲にしてでも一生懸命築き上げてくださった社会ではありますが、働き方という点についても、非常に考えさせられる2年間になりました。

海外に住んだり働いたりすることは、旅行や出張だけでは見えない世界が見えてきます。違いがありすぎて、受け入れられなかったり、ストレスになったりすることもあります。それでもチャレンジした経験は一生ものです。今後は、この経験を日本での地域リハビリテーションなどを考える材料にし、社会に還元していけるよう活動していきたいです。

NPO法人愛知県理学療法士学会 学術大会部 副部長 海野 光信

第27回 愛知県理学療法学会学術大会 学術大会賞の授賞者が決まりました

愛知県理学療法学会学術大会での学術大会賞は、優れた研究資質を有する士会員を顕彰することを目的に、発表演題の中から最優秀演題を選出し、授与しています。その選出は座長から推薦された演者に対し、学術大会終了後に愛知県理学療法学会誌への投稿を呼びかけ、投稿された論文を基に審査し、最優秀演題を決定しています。第27回学術大会においても座長から推薦された演者のうち、投稿のあった7演題を審査し、下記の演題の授賞が決定しました。おめでとうございます。なお表彰式は平成31年3月17日（日）に開催される第28回学術大会で行われます。是非、会員の皆様にも表彰式にご参加いただき、一緒にお祝いしていただくと幸いです。

<学術大会賞 受賞演題>

演者名：澤島 佑規先生

所属施設：偕行会リハビリテーション病院

演題名：被殻出血患者における皮質脊髄路走行領域の損傷度と下肢運動機能との関係

愛知県士会・愛知県学会・協会主催の学会・研修会

第28回 特定非営利活動法人 愛知県理学療法学会
THE AICHI SOCIETY FOR PHYSICAL THERAPY



愛知県理学療法学会 第28回 愛知県理学療法学会 愛知県理学療法学会 愛知県理学療法学会 愛知県理学療法学会

会期 **2019.3.17** 日

大会長 **金井 章**
豊橋創造大学 保健医療学部理学療法学科

会場 **愛知県産業労働センター ウィンクあいち**
〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-4-38

歩 行 再 考

お知らせ

本学会では事前参加申し込みを行います。
詳細は、大会HPの参加者へのご案内を
ご確認ください。また、抄録集は大会HPより
ご覧頂ける予定です。

PROGRAM

大会基調講演 (20分)	歩行再考 一歩容の変化を運動学的に捉えるー 金井 章 先生 (豊橋創造大学)
特別講演 (90分)	変形性股関節症患者の歩行再考 一理学療法士が歩行をどう変えていくかー 建内 宏重 先生 (京都大学)
教育セミナー1 (60分)	循環からみた歩行再考 一理学療法評価における歩行・身体活動量の意義と考え方ー 柴田 賢一 先生 (名古屋ハートセンター)
教育セミナー2 (60分)	麻痺性疾患患者の装具療法による歩行再建 平野 明日香 先生 (藤田保健衛生大学病院)
シンポジウム (90分)	病期別 歩行へのアプローチ 一患者が生活者に戻るまでに理学療法士ができることー 庄田 好孝 先生 (名古屋市立東部医療センター) 佐久間 泰彦 先生 (五栄川リハビリテーション病院) 辻 美幸 先生 (老人保健施設辰誠苑) 武居 真 先生 (豊橋整形外科江崎病院)

大会事務局: 豊橋創造大学 保健医療学部理学療法学科
〒440-8511 豊橋市牛川町松下20-1

主催: 特定非営利活動法人 愛知県理学療法学会
共催: 公益社団法人 愛知県理学療法士会



運営事務局: 株式会社 オフィス・テイクワン

〒451-0075 名古屋西区康生通2-26 TEL: 052-508-8510 FAX: 052-508-8540

E-mail: apta28@cs-oto.com URL: <http://www.cs-oto.com/apta28/>

後 援: 愛知県、名古屋市、公益社団法人愛知県医師会、一般社団法人名古屋市医師会、公益社団法人愛知県看護協会、一般社団法人愛知県作業療法士会、愛知県言語聴覚士会、社会福祉法人愛知県社会福祉協議会、社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会、一般社団法人愛知県医療法人協会、一般社団法人愛知県病院協会、中日新聞社

<地域医療介護総合確保基金に基づく愛知県委託事業>

◎平成30年度愛知県訪問リハビリテーション研修会

当研修会では、訪問リハビリテーションの実務者育成を目標としており、訪問リハビリテーションの質および量を担保していくために、今年度は、「同職種での連携」「活動、参加につなげるリハビリテーションの実践と地域資源の創造と活用」を重要なテーマとして挙げております。

また、本研修会の修了は、訪問リハビリ管理者育成研修会の受講要件になります。

両日参加にて受講証を発行させていただきます。

日 時 平成30年11月24日(土) 10:00～16:00(受付開始 9:30)

25日(日) 10:00～16:00(受付開始 9:30)

場 所 独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター 講堂(外来管理棟5階)
地下鉄「市役所駅」1番出口より徒歩1分

※駐車場は、患者様のためのものです。公共交通機関をご利用ください。

内 容 【1日目】

テーマ「制度改定に乗っ取った訪問リハの実践」

○講演 「30年度制度改定トピックス」

○グループワーク「制度改定後の情報共有」

○シンポジウム「セラピストが地域でどう活躍するのか？」

地域で訪問以外の活動の実践事例をご紹介します。

懇親会 17時～ 金山駅周辺で予定しております。(会費：5000円前後)

【2日目】*ケアマネージャーさんも参加いたします。

テーマ「主体性を育てるマネジメントの実践」

○講演 主体性を育てる訪問リハの実践に向けて

○個人ワークとグループ共有 「主体性を育てるためのポイントを学ぼう」

○講演「ケアマネージャーからみるこれからの担当者会議の在り方」

○グループワーク「セラピストとケアマネで主体性のあるマネジメントを考えよう」

ケアマネージャーと協同し、より効果的なマネジメントプランを議論しましょう。

参加費 無料

対 象 PT・OT・ST・Ns 等 在宅医療・ケアに関わる職種

ポイント 各士会の履修ポイントになります。

定 員 100名(定員となり次第、締め切りとさせていただきます。)

申 込 先 <https://ssl.form-mailer.jp/fms/38845721375069>

上記申し込みフォームよりお申込下さい。下記のQRコードもご利用いただけます。

申込期間 平成30年10月10日～平成30年11月17日

研修会事務局 (株)ジェネラス

TEL: 052-238-5496 FAX: 052-238-5497

E-mail :aichi-hr@generous.co.jp 担当：梅田 加藤

*お問い合わせは、できるだけメールにてお願いします。



その他の研修会

<在宅医療従事者対象>

せん妄対策研修会のご案内

在宅医療を導入・継続するうえで、「せん妄」が大きな支障となることがあります。在宅医療を受ける患者さんにせん妄がみられた際、どのように対応すればよいのか？また、どうすれば動揺するご家族に安心してもらえるのか？

愛知県医師会では、これらの課題についての研修会（レクチャー&グループワーク）を企画いたしました。医師を始めとした多くの医療関連職種の皆様のご参加をお待ちしております。

◆ 日時・場所 ◆

第1回：平成30年 12月22日（土）14：00～17：00 愛知県医師会館

第2回：平成31年 1月26日（土）14：00～17：00 ウィンクあいち

第3回：平成31年 2月16日（土）14：00～17：00 豊橋商工会議所

※受付は各会場共に13：30から

◆ 対 象 ◆

名古屋・尾張・三河地区の診療所若しくは病院で在宅医療に従事する、医師を始めとした看護師・薬剤師・リハビリ関連職・介護職・栄養士・ソーシャルワーカー等、多職種の医療従事者。

◆ プログラム ◆

講義（50分）せん妄に対するアプローチ
グループワーク（120分）（DVD視聴、ロールプレイ、ディスカッション×2セッション）
#セッション1：プレターミナルのせん妄（可逆性せん妄）
#セッション2：ターミナルのせん妄（不可逆性せん妄）

※プログラムすべての参加を原則とします。途中参加・退席はできません。

※研修会前後にアンケート調査（研修会に関する評価）へのご協力をお願いします。

◆ 定 員 ◆

70名（研修会1回につき）

※参加費無料・要申込

※申込者多数の場合は抽選になります。

◆ 申込方法 ◆

裏面の受講申込書に必要事項をご記入の上、

愛知県医師会医療業務部第3課まで

FAX（052-241-4130）にてお申込みください。

◆ 締め切り ◆

平成30年12月7日（金）

主 催：公益社団法人 愛知県医師会／愛知県

在宅医療従事者のための「せん妄対策研修会」受講申込書

◆ 日時・会場・講師 ◆

第1回 日時：平成30年12月22日（土）14：00～17：00
 会場：愛知県医師会館 9階大講堂（名古屋市中区栄4-14-28）
 講師：井上真一郎（岡山大学病院 精神科神経科）

第2回 日時：平成31年1月26日（土）14：00～17：00
 会場：ウインクあいち 13階1301会議室（名古屋市中村区名駅4-4-38）
 講師：井上真一郎（岡山大学病院 精神科神経科）

第3回 日時：平成31年2月16日（土）14：00～17：00
 会場：豊橋商工会議所 4階406会議室（豊橋市花田町字石塚42-1）
 講師：井上真一郎（岡山大学病院 精神科神経科）

◆ 受講者 ◆

受講希望日 (応募者多数の場合は抽選)	第1希望：第 _____ 回	第2希望：第 _____ 回	
フリガナ		性別	男・女
申込者氏名			
職 種	1. 医師（ _____ 医師会所属・非会員 ） 2. 歯科医師 3. 看護師 4. 准看護師 5. 薬剤師 6. 理学療法士 7. 作業療法士 8. 栄養士 9. 精神保健福祉士 10. 社会福祉士 11. 介護福祉士 12. 医療ソーシャルワーカー 13. その他（ _____ ）		
勤務先名			
勤務先住所	〒 _____		
TEL / FAX	TEL (_____) _____ / FAX (_____) _____		

※ 上記に必要な事項を全てご記入の上、愛知県医師会医療業務部第3課宛FAX（052-241-4130）にて12月7日（金）までにお申し込みください。

※ 受講の可否および受講日は、申込み締切日（12月7日）以降にハガキにてご連絡いたします。

※原則として、個人情報をご本人の承諾なく本研修会以外に利用または第三者に提供いたしません。

お問い合わせ先

公益社団法人 愛知県医師会 医療業務部第3課

〒460-0008 名古屋市中区栄4-14-28

TEL：052-241-4143（土・日・祝日を除く9：00～17：00）

FAX：052-241-4130 E-mail：chiiki_3@aichi.med.or.jp

◎中部リハビリテーション専門学校同窓会「同友会」平成30年度 第1回卒後研修会

日 時：平成30年12月8日（土）14：00～17：15（13：30～受付開始）

内 容：「股関節機能障害と姿勢・歩行」

姿勢や歩行は、理学療法の評価・治療の中でも中心的な課題であるとともに、運動器機能障害においては障害の原因となる場合もある。本講演では、股関節機能障害を中心に、姿勢や歩行の病態およびそれらの評価・治療について科学的背景とともに具体的な方法を提示したい。

講 師：建内 宏重 先生（京都大学大学院医学研究科）

会 場：中部リハビリテーション専門学校 5階講堂

受講費：同友会入会5年以内；無料、同友会入会6年以降；1,000円、会員外；3,000円

中部リハビリテーション専門学校の卒業生以外の参加も可能です。

定 員：100名

申込先：下記のQRコードを読み取り、申し込みをお願いします。



なお、同友会ホームページ（<http://chureha.kzan.jp/dosokai/index.html>）にもリンクがあります。

締 切：平成30年11月30日（金）

主 催：中部リハビリテーション専門学校同窓会「同友会」愛知県理学療法士会（後援）

その他：本研修会は、（公社）日本理学療法士協会専門理学療法士・認定理学療法士資格取得および更新に関わる履修ポイントが取得可能です。なお、分野は「運動器」、「基礎理学療法」です。

◎中部リハビリテーション専門学校同窓会「同友会」平成30年度 第2回卒後研修会

日 時：平成31年2月9日（土）14：00～17：15（13：30～受付開始）

内 容：「肩関節変性疾患の運動療法で知っておきたいバイオメカニクスとその応用」

肩腱板断裂や肩関節周囲炎といった肩関節の変性疾患においては膝関節や股関節と違って保存療法が第一選択となることが多いです。そして、保存療法の主役となるのが運動療法であり、理学療法士の臨床能力によってその効果が異なることが認知されつつあります。効果的な運動療法を行うためには肩関節の各組織が肩関節運動にどのように関わっているかを熟知し、それを基に疾患特性に合わせた最適な運動を選択する能力が必要になります。本講演では肩関節変性疾患に対する理学療法士の臨床能力を高めるための基盤となるバイオメカニクスと、それをどのように応用して実践に生かすかについてお話ししたいと思います。

講 師：村木 孝行 先生（東北大学病院）

会 場：中部リハビリテーション専門学校 5階講堂

受講費：同友会入会5年以内；無料、同友会入会6年以降；1,000円、会員外；3,000円

中部リハビリテーション専門学校の卒業生以外の参加も可能です。

定 員：100名

申込先：下記のQRコードを読み取り、申し込みをお願いします。



なお、同友会ホームページ（<http://chureha.kzan.jp/dosokai/index.html>）にもリンクがあります。

締 切：平成31年2月1日（金）

主 催：中部リハビリテーション専門学校同窓会「同友会」愛知県理学療法士会（後援）

その他：本研修会は、（公社）日本理学療法士協会専門理学療法士・認定理学療法士資格取得および更新に関わる
履修ポイントが取得可能です。なお、分野は「運動器」、「基礎理学療法」です。

◎運動器疾患スペシャリスト（3学会合同標準徒手医学）講習会入門コース

日 程：日程1：2019年1月19日（土）定員30名

会場：ワークプラザ岐阜402会議室（岐阜県岐阜市鶴舞町2丁目6-7）

日程2：日時:2019年1月20日（日）定員40名

会場：アイプラザ豊橋205-206会議室（愛知県豊橋市草間町字143-6）

※どちらか1日での受講となります。

内 容：問診・視診の知っておくべき重要ポイント

疼痛・可動域制限の原因組織の鑑別方法（筋・関節・神経）

クリニカルリーズニング（臨床推論の行いかた）

治療効果判定方法及び治療方針の立てかた

臨床における実践方法 等

講 師：3学会合同標準徒手医学講習会公認インストラクター陣

受講費：5,000円（税込）参加費は当日会場にてお支払いください。

申し込み方法：

以下、講習会ホームページの「申し込み」欄から、もしくは以下メールアドレスにメール送信をお願いします。

<http://rigakusp.ws.hosei.ac.jp/index.html>

メールの際は①氏名②受講希望日時及びコース名③勤務先④経験年数⑤住所を記入して以下メールアドレスに送信をお願いします。

メールアドレス:pt_mtspecialist@yahoo.co.jp

締 切：定員に達し次第、終了いたします。

主 催：理学療法科学学会 日本スポーツリハビリテーション学会 標準徒手医学会

その他：詳細は当会ホームページでも確認できます。<http://rigakusp.ws.hosei.ac.jp/index.html>

◎国際PNF協会 (IPNFA®) 認定ベーシックコース レベル1&2

日 時：レベル1 2019年1月21日(月)～25日(金)
レベル2 2019年3月25日(月)～29日(金)
内 容：PNFの概要、テクニック、パターン、マット動作、
歩行、運動学習と制御についての講義と実技指
導、代表的な症例を通じての評価、実技演習
講 師：市川 繁之 先生 (IPNFA®) シニアインス
トラクター／ヒューマンコンディショニング
PNFセンター)
会 場：株式会社gene 本社 セミナールーム
名古屋市東区葵1丁目26-12 IKKO新栄ビル
6階
受講費：130,000円 (税込)
※事前振込 (お申込み後、入金先をご案内いたし
ます)
※分割でのお支払いについてはご相談ください
定 員：20名 作業療法士、理学療法士、医師 (左記
の職種に限定させていただきます)
申込先：[https://www.gene-llc.jp/secretariat/
?id=1533178817-855897](https://www.gene-llc.jp/secretariat/?id=1533178817-855897)
締 切：2019年1月11日 (金)
主 催：INCC 担当：獅子内 善徳／IPNFA® アシス
タント

◎株式会社gene主催セミナー①

◎骨折の評価と運動療法の考え方

～橈骨遠位端骨折を中心に～

日 時：2018年11月18日 (日)
10:00～16:45 (受付9:30～)

内 容：【講義概要】

橈骨遠位端骨折は、全骨折の1/6を占めると
いわれるほど頻度の高い骨折で、尺骨骨折を合
併することも希ではありません。

また、高齢者に起こりやすい骨折の一つでも
あり、急性期病院からクリニックに至るまでセ
ラピストがかかわる可能性の高い骨折です。

治療方法としては、保存療法や手術療法が選

択されますが、比較的可動域制限を残しやすい
骨折でもあります。

特に、掌屈・背屈とも45°以上の改善に難渋
された経験はないでしょうか？

本講義は、「骨折の機能解剖学的運動療法—
その基礎から臨床まで—総論・上肢編 (中外医
学社)」をベースに、橈骨遠位端骨折に対する
整形外科的な治療の考え方、画像所見の取り方、
理学療法評価、可動域の改善を主眼に運動療法
を考えたいと思います。

講 師：松本正知先生

(桑名市総合医療センターリハビリテーション
科副室長・理学療法士)

会 場：株式会社gene 本社 セミナールーム

受講費：12,500円 (税込)

定 員：50名

申込先：株式会社geneホームページよりお願い致します。

締 切：定員になり次第締め切り

主 催：株式会社gene (愛知県士会後援依頼申請中)

◎株式会社gene主催セミナー②

◎腰椎疾患におけるリアライン・コンセプトの理論と実践

～腰痛症に対する評価と治療～

日 時：2018年11月23日 (金・祝)
10:00～16:00 (受付9:30～)

内 容：【講義概要】

治療には設計図が必要です。

設計図には、治療開始から完了までのプロセ
スが書かれています。

手順に従って短期ゴールを達成することによ
り、治療完了に向かって直線的な道のりで進む
ように誘導してくれます。

私は、すべての関節疾患の治療に応用できる
設計図として、「リアライン・コンセプト」を提
唱しています。

第1に他動運動の正常化 (リアライン)、第2
に正常となった他動運動を維持するための筋機
能改善 (スタビライズ)、第3にマルアライメン

ト再発を防ぐための動作修正（コーディネート）の順に治療を進めます。

これに基づき、即時効果を得ながら、各段階の目標を確実にクリアしつつ治療を進めることができ、治療の流れで迷うことがなくなります。

本講義では、腰痛症に対して、そのメカニズムを推定するためのシンプルな評価法を学習し、メカニズムを特定したうえで治療を進めるようになることをゴールとします。

講師：蒲田和芳先生

（広島国際大学総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科教授

株式会社GLAB（ジーラボ）代表取締役・理学療法士、日本体育協会公認アスレティックトレーナー）

会場：株式会社gene 本社セミナールーム

受講費：12,500円（税込）

定員：60名

申込先：株式会社geneホームページよりお願い致します。

締切：定員になり次第締め切り

主催：株式会社gene（愛知県士会後援依頼申請中）

も特にセラピストが介入しやすい「個体」は3つの拘束条件（力学法則による拘束、神経系・筋骨格系による拘束、コストの最適化による拘束）に細分化することができます。

本講演ではバイオメカニクスの基礎知識を学ぶとともに、歩行の三次元解析の解説を通して「力学法則による拘束」の観点から歩行を捉えつつ、脳画像解析の解説を通して「身体（神経系と筋骨格系）による拘束」「コストの最適化による拘束」の観点から脳画像と歩行の関係について再考します。

講師：玉利誠先生

（福岡国際医療福祉学院理学療法学科 国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究所准教授・理学療法士）

会場：今池ガスビル7階プラチナルーム

受講費：12,500円（税込）

定員：60名

申込先：株式会社geneホームページよりお願い致します。

締切：定員になり次第締め切り

主催：株式会社gene（愛知県士会後援依頼申請中）

◎株式会社gene主催セミナー③

◎脳卒中患者の歩行分析

～脳画像とバイオメカニクスから考える治療アプローチ～

日時：2018年11月24日（土）

10:00～16:00（受付9:30～）

内容：【講義概要】

動作分析はセラピストにとって重要なスキルの一つですが、具体的な方法については十分に標準化されていないのが現状です。

用語の定義から紐解くと、動作は運動によって達成される結果であり、運動は姿勢の時空間的連続変化であるため、動作分析の本質は瞬時的な姿勢制御の連続について分析することになります。

さらに、姿勢制御は「個体」「課題」「環境」の相互作用によって創発されますが、その中で

◎株式会社gene主催セミナー④

◎半側空間無視・失行の神経メカニズムと

ニューロリハビリテーション

日時：2018年11月25日（日）

10:00～16:00（受付9:30～）

内容：【講義概要】

右半球損傷後にみられる半側空間無視は、空間性の注意障害を示す代表的な高次脳機能障害ですが、その病態を最近の神経科学成果に基づいてサブ分析し、全般性注意障害、能動的注意障害、受動的注意障害といったそれぞれの観点から適切な介入手段を考えて行く場にします。

一方、左半球損傷後にみられる失行は、意図的な行為障害を示す代表的な高次脳機能障害であり、なかでも、道具の使用失行はADL障

害に直接的に関与します。

ここでは、最近の神経科学性化に基づいてその病態をサブ分析し、行為の拙劣性、道具の誤使用等といったそれぞれの観点から適切な介入手段を考えて行く場にします。

本講演では関連職種にとって基本となるであろう半側空間無視・失行の神経メカニズム、ならびにそれを考慮したニューロリハビリテーションについて解説します。

講師：森岡周先生

(畿央大学健康科学部理学療法学科教授・理学療法士)

会場：電気文化会館5階イベントホール

受講費：12,500円(税込)

定員：100名

申込先：株式会社geneホームページよりお願い致します。

締切：定員になり次第締め切り

主催：株式会社gene(愛知県士会後援依頼申請中)

◎株式会社gene主催セミナー⑤

◎大腿骨頸部骨折・大腿骨転子部骨折の予後予測

～歩行開始の見方・考え方と運動療法～

日時：2018年12月2日(日)

10:00～16:00(受付9:30～)

内容：【講義概要】

大腿骨頸部骨折・大腿骨転子部骨折では受傷時のレントゲンから、軟部組織の損傷部位を推測することが重要です。損傷された軟部組織は、やがて拘縮や筋力低下の要因となり、運動療法を阻害するきっかけとなります。治療対象となる組織を絞ることができれば、治療成績は向上します。また、手術では大きく内固定、髄内釘、人工骨頭に分類されますが、それぞれの特徴を理解しておくことが運動療法を実施する上で重要となります。

最終的なゴールは、いずれも歩行機能の獲得です。拘縮や筋力低下を速やかに回復できると、安定した歩行機能を獲得することができます。

受講生の方々が、これまで以上の治療成績が出せるように講演を進めていきます。その一助になれば幸いです。

講師：赤羽根良和先生(さとう整形外科・理学療法士)

会場：株式会社gene本社セミナールーム

受講費：12,500円(税込)

定員：50名

申込先：株式会社geneホームページよりお願い致します。

締切：定員になり次第締め切り

主催：株式会社gene(愛知県士会後援依頼申請中)

◎株式会社gene主催セミナー⑥

◎変形性膝関節症の保存的療法から診る治療戦略

～疾患のサブグループ化とエビデンス～

日時：2018年12月8日(土)

10:00～16:00(受付9:30～)

内容：【講義概要】

変形性膝関節症は臨床で遭遇する頻度の高い疾患の1つですが、治療ガイドラインで示されているエビデンスレベルの高い項目のみでは個々の症例に対応することが困難であるのが現状です。これは、多彩な症状を示す変形性膝関節症にもかかわらず、1つの疾患として捉えた結果であり、今後、症状や病態により様々なサブグループ化を行っていく必要があります。

本セミナーでは、変形性膝関節症とは何かをもう一度理解し、病態によるサブグループ化や基本的な治療概念をお伝えしたいと思います。

講師：山田英司先生

(総合病院回生病院関節外科センター附属理学療法部部长・理学療法士)

会場：株式会社gene本社セミナールーム

受講費：12,500円(税込)

定員：60名

申込先：株式会社geneホームページよりお願い致します。

締切：定員になり次第締め切り

主催：株式会社gene

◎株式会社gene主催セミナー⑦

◎股関節疾患を診る上で押さえておくべきポイントと
それを踏まえたアプローチ

～画像と徒手による股関節の形態評価と運動療法の考え方～

日 時：2018年12月9日(日)

10:00～16:00(受付9:30～)

内 容：【講義概要】

1. 股関節の形態評価をレントゲン像により根拠として分析できるように、症例の画像を提示して解説します。その上で臨床での姿勢・動作分析につなげられるようにするために、股関節周囲の筋の触診と動作分析を実技で行います。
2. 股関節疾患を単関節疾患としてとらえるのではなく、隣接関節障害との関係で解釈し、治療をしていくための評価と運動療法を行います。
3. 近年の人工股関節置換術後の早期退院、日常生活への復帰に向けて、理学療法士は何をすべきかを考えます。
4. 脆弱性骨折の代表疾患である大腿骨頸部骨折の背景となる、骨粗鬆症の治療と転倒予防、ドミノ骨折の予防に関して、理学療法士の知っておくべき知識とやるべきことを講義します。
5. 股関節疾患の症例の歩行を中心に、動画を提示して症例検討をします。

講 師：永井聡先生

(広瀬整形外科リウマチ科リハビリテーション科
部長・理学療法士)

会 場：株式会社gene 本社セミナールーム

受講費：12,500円(税込)

定 員：60名

申込先：株式会社geneホームページよりお願い致します。

締 切：定員になり次第締め切り

主 催：株式会社gene

◎株式会社gene主催セミナー⑧

◎下肢・体幹の運動連鎖の理解と

それを踏まえたアプローチの展開

～運動連鎖パターンを理解した上で行う評価と

運動療法の実際～

日 時：2018年12月15日(土)

10:00～16:00(受付9:30～)

内 容：【講義概要】

筋力低下が生じている筋の強化を行い、可動域制限が生じている関節の可動域改善を図るだけでは、患者さんに対して良い結果は得られません。そのことは、臨床に携わっているセラピストであれば誰もが少なからず感じていることだと思います。それは、促通して良い筋、緩めてもよい筋、動かしてよい関節運動方向、反対に動かしてはダメな運動方向などは、患者さんによって異なるからです。

では、どうすれば良いのでしょうか？患者さんを良くする方向性を明確にするためには、運動連鎖を理解することが一番の近道だと考えます。今回のセミナーでは下肢と体幹の運動連鎖について、解説と実技を交えながら行っていきます。

運動連鎖を理解すると、様々な局面で役立ちます。外来だけでなくベッドサイドや訪問リハ、スポーツなど、どの分野でも応用可能です。もちろん整形外科疾患に限りません。

講 師：財前知典先生

(医療法人博聖会広尾整形外科副院長・理学療法士)

会 場：株式会社gene 本社セミナールーム

受講費：12,500円(税込)

定 員：60名

申込先：株式会社geneホームページよりお願い致します。

締 切：定員になり次第締め切り

主 催：株式会社gene

◎株式会社gene主催セミナー⑨

◎骨折の評価と運動療法の考え方

～上腕骨近位部骨折を中心に～

日 時：2018年12月16日(日) 10:00～16:45(受付9:30～)

内 容：【講義概要】

上腕骨近位部骨折は、高齢者に起こりやすい骨折の一つであり、全骨折の5%程度を占めるとされています。

比較的良好な成績が得られるとされていますが、手術後の成績としては130度程度の挙上角度が一般的な成績のようです。

本講義は、既存の成績を少しでも向上できるように解剖学、肩甲上腕関節と肩甲胸郭関節の運動学、組織の修復過程を再確認し、

- ・ 整形外科的な診断と治療(プレートと髄内釘による固定)を理解する
- ・ Stopping exerciseに対する我々の考え方を理解し体験する
- ・ 肩甲上腕関節と肩関節複合体としての可動域計測法を理解し体験する
- ・ 挙上・結帯動作を改善するための運動療法を理解し体験することを目標にします。

触診の重要性についても再確認し、基礎から学びたい方にお聞きいただきたい内容です。

参考文献：骨折の機能解剖学的運動療法—その基礎から臨床まで—総論・上肢編(中外医学社)

講 師：松本正知先生

(桑名市総合医療センターリハビリテーション科副室長・理学療法士)

会 場：株式会社gene 本社セミナールーム

受講費：12,500円(税込)

定 員：50名

申込先：株式会社geneホームページよりお願い致します。

締 切：定員になり次第締め切り

主 催：株式会社gene(愛知県士会後援依頼申請中)

◎株式会社gene主催セミナー⑩

◎神経難病の疾病概要の理解と予後を

推測した中で行うリハビリテーション

～パーキンソン病および関連疾患・

筋萎縮性側索硬化症の新しいリハビリテーション～

日 時：2018年12月22日(土)

10:00～16:00(受付9:30～)

内 容：【講義概要】

神経難病は原因不明かつ希少性疾患であり慢性的な経過を辿る。

多様な病状の進行する神経難病患者において、セラピストをはじめ療養支援者が後手後手な対応をすると予後を悪化させる。

本講義では、パーキンソン病及び関連疾患と筋萎縮性側索硬化症の病態理解と病状から予後を推測し、起こるべき課題に対し、早期より継続的な対応ができることを目的とする。

また、そのためには病態の理解のみならず、対処的な治療や各種医療機器(人工呼吸器や排痰機器)の理解を深め、多専門職種チームの一員としてリハビリテーションを提供することが求められる。

さらに、進行期や医療依存度が高い神経難病患者におけるリハビリテーションの意義や緩和的介入の必要性について解説していく。

講 師：寄本恵輔先生

(国立精神・神経医療研究センター病院リハビリテーション科理学療法主任・理学療法士)

会 場：株式会社gene 本社セミナールーム

受講費：12,500円(税込)

定 員：60名

申込先：株式会社geneホームページよりお願い致します。

締 切：定員になり次第締め切り

主 催：株式会社gene(愛知県士会後援依頼申請中)

◎株式会社gene主催セミナー⑪

◎腱板断裂－病態理解とアプローチ

日 時：2018年12月23日(日)

10:00～16:00(受付9:30～)

内 容：【講義概要】

腱板断裂は腱板の退行変性を基盤として発症し、疼痛や運動障害を主訴とする疾患である。

しかし、腱板断裂を来していても全く症状を認めない無症候性腱板断裂も数多く存在する。これはいったいどういうことだろうか？

また断裂した腱板は自然修復しないが、この腱板断裂に対する保存療法の効果とはいったい何なのだろうか？

腱板断裂は日常診療で遭遇する機会が多い疾患であるが、病変そのものを疼痛や運動障害の直接的原因と捉えてしまうと、上記した矛盾や疑問が生じてくる。

本セミナーでは、これらの矛盾や疑問を解決すべく無症候性腱板断裂と症候性腱板断裂の違いや病態の解釈について解説するとともに、そのアプローチについて実技を交えながら述べていくこととする。

講 師：福吉正樹先生

(名古屋スポーツクリニックリハビリテーション科・理学療法士)

会 場：株式会社gene 本社セミナールーム

受講費：12,500円(税込)

定 員：60名

申込先：株式会社geneホームページよりお願い致します。

締 切：定員になり次第締め切り

主 催：株式会社gene(愛知県士会後援依頼申請中)

◎株式会社gene主催セミナー⑫

◎脳卒中片麻痺に対する促通反復療法入門

～基本的な理論とその臨床応用～

日 時：2019年1月6日(日)

10:00～16:00(受付9:30～)

内 容：【講義概要】

脳卒中治療ガイドライン2015では、上肢機能障害に対するリハビリテーションの項目で「麻痺が軽度から中等度の患者に対して促通反復療法などの反復訓練を行うことが勧められる(グレードB)」とされています。

また、下肢や立位、歩行機能の改善についても多数の報告がみられます。

エビデンスを着々と積み上げている促通反復療法は、脳卒中片麻痺治療に携わる療法士にとって体得しておきたい治療法であるでしょう。

今回のセミナーは入門編として、明日からの臨床で取り入れられる基本的手技を紹介します。

【必要物品】

実技あり:動き易い服装(Tシャツ、ジャージ等)

講 師：大郷和成先生

(NPO法人laule'a(ラウレア) 副理事長・作業療法士)

会 場：株式会社gene 本社セミナールーム

受講費：12,500円(税込)

定 員：50名

申込先：株式会社geneホームページよりお願い致します。

締 切：定員になり次第締め切り

主 催：株式会社gene

◎株式会社gene主催セミナー⑬

◎膝関節疾患における

リアライン・コンセプトの理論と実践

～変形性膝関節症に対する評価と治療～

日 時：2019年1月12日(土)

10:00～16:00(受付9:30～)

内 容：【講義概要】

全ての関節疾患の治療には設計図が必要です。

設計図には、治療開始から完了までのプロセスが書かれています。

手順に従って短期ゴールを達成することによ

り、治療完了に向かって直線的な道のりで進むように誘導してくれます。

「リアライン・コンセプト」に基づくと、膝OAに特徴的なマルアライメントと運動（キネマティクス）の修正を優先的に行います。

そのためには、正常なキネマティクスを十分に理解し、その上で異常な運動を引き起こしている原因因子を特定し、それらに適切に治療を施さなければなりません。

その結果、関節周囲の何処にも負担のかからない正常な運動が獲得されていきます。

本講義では、膝OAに対して、異常キネマティクスの原因因子を同定し、それを解決して理想的な関節運動を取り戻すための治療法を進めるようになることをゴールとします。

講師：蒲田和芳先生

（広島国際大学総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科教授

株式会社GLAB（ジーラボ）代表取締役・理学療法士、

日本体育協会公認アスレティックトレーナー）

会場：株式会社gene 本社セミナールーム

受講費：12,500円（税込）

定員：60名

申込先：株式会社geneホームページよりお願い致します。

締切：定員になり次第締め切り

主催：株式会社gene（愛知県士会後援依頼申請中）

◎株式会社gene主催セミナー⑭

◎変形性膝関節症の運動療法と

人工膝関節置換術後のアプローチの考え方

日時：2019年1月14日（月・祝）

10：00～16：00（受付9：30～）

内容：【講義概要】

人工関節置換術は部位問わず、機能障害を改善する目的で行われており、セラピストは術後の動作分析や評価などを通じ、適切な理学療法を選択し術後の身体機能が術前よりも向上す

るためのアプローチが求められる。

そこで本セミナーでは、膝関節における人工関節のメカニズムと術後、患者に生じる動作特性を説明した上で、身体運動の協調性を目指す新しい戦略の学習についてどのようにアプローチすべきか、具体例を挙げて理解してもらう。

講師：石井慎一郎先生

（国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科福祉支援工学分野教授・理学療法士）

会場：名古屋国際会議場2号館3階会議室234

受講費：12,500円（税込）

定員：80名

申込先：株式会社geneホームページよりお願い致します。

締切：定員になり次第締め切り

主催：株式会社gene（愛知県士会後援依頼申請中）

◎株式会社gene主催セミナー⑮

◎足関節における拘縮評価と治療

日時：2019年1月20日（日）

10：00～16：00（受付9：30～）

内容：【講義概要】

床での生活が多い日本人にとって、しゃがみ込む、正座をするといった動作は重要ですが、足関節の可動性も十分に得られてこそ遂行できる動作でもあります。

また、歩行時には、下腿の前傾が最低10°は必要であると言われていますが、背屈制限によって、膝、股関節へ影響を及ぼすこともあり、二次的障害を惹起しかねず、床面に最初に接する部位として、その可動性は重要であると言えます。

可動域の制限因子は何か、それを探ることこそ、治療を行う上でターゲットポイントを絞るために重要であり、そのために各組織の特性を知る必要があります。

さらに、それらを確実に遂行するための触診技術、また、ときにはエコーを中心とした画像による補助的所見も参考に、治療方法を選択す

ることが可動域を獲得するために重要です。

本講義では、外傷を題材に、基本的な拘縮の考え方と評価の仕方、足関節周辺軟部組織の特性からみた拘縮評価と治療方法について、触診も含め講義、実技を行います。

講師：中宿伸哉先生（吉田整形外科病院リハビリテーション科科长・理学療法士）

会場：株式会社gene 本社セミナールーム

受講費：12,500円（税込）

定員：60名

申込先：株式会社geneホームページよりお願い致します。

締切：定員になり次第締め切り

主催：株式会社gene（愛知県士会後援依頼申請中）

主催：株式会社gene（愛知県士会後援依頼申請中）

◎株式会社gene主催セミナー①⑥

◎変形性股関節症の運動療法と

人工股関節置換術後のアプローチの考え方

日時：2019年2月11日（月・祝）

10：00～16：00（受付9：30～）

内容：【講義概要】

股関節は重心制御において非常に重要な役割を果たしており、機能不全に陥ると体幹が代償的な可動性が求められることとなり、ひいては身体運動の協調性が損なわれることに繋がる。

そこで本セミナーでは、股関節における人工股関節のメカニズムと、術後生じる運動特性から股関節の正しい回転軸の形成や、腰椎-骨盤-股関節の協調運動、荷重など、協調運動を再獲得するためにセラピストが介入すべき事項を、具体的なアプローチを交えて説明したい。

講師：石井慎一郎先生

（国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科福祉支援工学分野教授・理学療法士）

会場：名古屋国際会議場2号館3階会議室234

受講費：12,500円（税込）

定員：80名

申込先：株式会社geneホームページよりお願い致します。

締切：定員になり次第締め切り



リハビリテーション情報センターのお知らせ

リハビリテーション情報センターでは愛知県作業療法士会・愛知県言語聴覚士会の協力を得て施設情報等のリハビリテーションに関わる情報を県民の皆様にご報告するとともに、理学療法士をはじめ専門職に対し就業情報の提供や地域ネットワークの支援を中心に専用ホームページを活用し情報発信を行っています。

① 求人情報を無料で掲載します

大きな事業の一つに求人情報の提供があります。リハビリテーション情報センターでは無料で様々な条件での求人を広く掲載し、理学療法士等人材活用に生かしていきたいと考えております。掲載希望の病院・診療所・事業所・養成校・行政機関ひいては自主活動団体からの情報をお待ちしております。リハビリテーション情報センターホームページの求人掲載フォームから申し込みをお願いします。

(掲載の内容の例)

- *正規職員・非常勤職員を募集したい
- *産育休の補充がしたい
- *非常勤講師を募集したい
- *健康教室などの講師を募集したい 等どんな雇用形態でも構いません

② 会員ページを活用してください

リハビリテーション情報センターでは会員のページを作成しています。各市区町村ネットワークの活動紹介や予防教室などで活用できる資料の公開などの情報を公開しています。

閲覧にはID・PASSが必要となりますので下記のID・PASSをご利用ください。

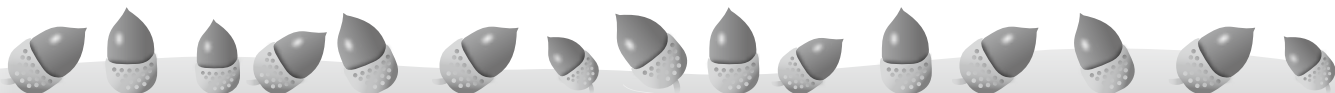
ID: jouthou

PASS: ptotst

③ 施設情報の確認変更をお知らせください

県民の皆様向けにリハビリテーションを受けられる施設検索ができるようになっております。2016年度に実施したアンケート情報を基に掲載をしておりますので、変更や新規情報などありましたらお問い合わせのページより情報提供をお願いします。また今年度には再度アンケートを実施しますのでご協力をお願いします。

Web ページ : www.aichi-reha-info.jp/ を是非参照してください。



会員の皆様へ事務局からのお知らせ

① 会員情報へのメールアドレス登録及びメール通信配信登録のお願い

愛知県理学療法士会では、会員向け情報の提供手段としてメール通信の運用を実施しております。会員の皆様には日本理学療法士協会マイページよりメールアドレスの登録・メール配信希望登録をお願いします。（職場・個人どちらでも構いませんが、緊急連絡等もありますので、できる限り個人メールアドレスの登録をお願いします。また、携帯アドレスでは受信できない場合がありますのでご注意ください。）

また、今後研修会案内などにつきまして経費節減のため、メール・HPでの情報発信を中心に行うことも検討しておりますのでご協力をお願いいたします。

② 所属先登録・変更のお願い

会員動向の正確な把握のため、所属施設をお持ちの会員の方は（可能なら非常勤の場合も）施設会員への登録をお願いします。新年度に際し職場の異動、自宅住所等の変更があった方は速やかに日本理学療法士協会マイページより登録変更をお願いします。（会員個人で変更をしていただかないと変更できません又変更されませんと連絡不能者となり重要なお知らせがお手元に届きません）

士会ニュースなど個人発送物は自宅への発送も可能ですので、自宅へ郵送希望で自宅会員になられている方がお見えになりましたら郵送物発送先を自宅へ変更し、所属施設の登録をお願いいたします。

③ 一般会員からの情報提供・ニュース投稿のお願い

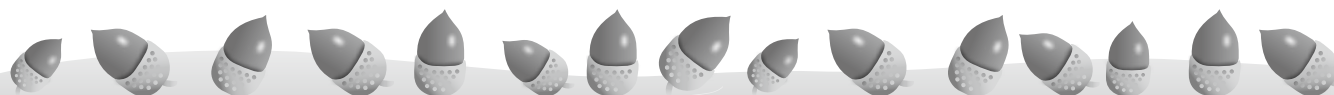
地域支援活動・災害ボランティア活動など会員の皆様の活動は多岐にわたっております。理学療法士の活躍を県民にお知らせするためにもニュース投稿をお願いしたいと思います。投稿を希望される方は事務局までご一報ください。

④ 会員福利厚生サービスのお知らせ

今回、あいおいニッセイ損保様のご厚意により、愛知県理学療法士会・愛知県理学療法学会会員の方は団体扱いとなり保険料の割引が受けられることとなりました。詳細は事務局へお問い合わせください。

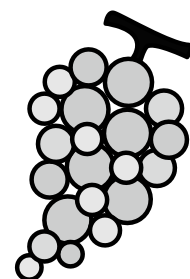
⑤ 会費納入には楽天カード決済をご利用ください。

現在、会費納入方法には楽天カード決済・口座振替・現金振り込みの三種類あります。会費納入には会費未納防止などの為、便利でお得な楽天カード決済のご協力をお願いします。



会 員 動 向		
(平成30年6月16日～平成30年8月31日)		
総会員数 5,642名 (平成30年10月1日現在)		
施設会員	施設会員 4,912名 (所属施設 899施設)	
自宅会員	730名	
県外異動	(他県→愛知県)	18名
県外異動	(愛知県→他県)	15名
復 会	3名	
休 会	8名	
退 会	12名	
会費未納 退 会 者	132名	
休会経過 退 会 者	42名	

編 集 後 記



秋も深まり日が短くなってまいりました。「食欲の秋」「運動の秋」「勉強の秋」などと言われ、一年のうちで最も過ごしやすい季節です。健康に留意しながら自己研鑽に励みたいものです。

ニュース編集部 部長 後藤 亮吉

◀ 求人情報 ▶

医療法人哲友会 上田整形外科

- 所在地 〒483-8044 愛知県江南市宮後町船渡115
- 電話番号 0587-59-8885
- 募集人数 2名
- 希望条件 常勤
 休日：土曜日午後、日曜日、祝日、お盆、年末年始
 時間：月～金 8:45～12:15、15:45～19:30
 土 8:45～12:30
 給与：263,500円～ 業績手当+2万円/月前後
 就職祝金10万円支給
 賞与：年2回
- 担当者 室長 上田 正 (dave.ueda@live.jp)
- ホームページ <http://www.uedaseikeigeka.com/>

訪問看護ステーションゆめの葉
訪問看護ステーションゆめの葉・翠

- 所在地 〒466-0852 名古屋市昭和区萩原町2丁目43-1
 〒458-0814 名古屋市緑区鶴が沢1丁目1707番地
- 電話番号 052-734-4871
- 募集人数 2名
- 希望条件 問いません
- 担当者 事務・池内
- ホームページ <http://sumikanoki.co.jp>
 * 勤務場所は2カ所より選べます。

医療法人しろみ会 城見整形外科クリニック

- 所在地 〒462-0847 名古屋市北区金城2-12-5
- 電話番号 052-981-7738
- 募集人数 若干名
常勤または非常勤
- 希望条件 ・リハビリに特化した通所リハビリテーションでの勤務です。
 ・有給休暇消化率90%以上、学会等の研修費補助充実。
- 担当者 事務部 林
- ホームページ shiromi-seikei.jp

公益社団法人
愛知県理学療法士会ニュース

No.191

平成 30 年 (2018) 11 月 1 日 発行

発行所 愛知県理学療法士会

発行者 鳥山喜之

編集者 後藤亮吉

事務局 〒461-0001
名古屋市東区泉1-12-35 1091ビル9F
TEL・FAX [052] 972-6295
〔HP〕 <http://www.aichi-pt.jp>
(携帯電話からも閲覧できます)
e-mail:office@aichi-pt.jp

印刷 不二印刷工業株式会社
